



9月18日 8時ごろ、古川～仙台間走行中の「はやぶさ・こまち6号」が、走行中に連結器が外れ緊急停車をするという、前代未聞の事象が発生しました。幸いにも脱線や衝突などはありませんでしたが、最高速度域で走行中の出来事でした。

原因については調査中ですが、つばさ号の郡山駅の事象に続き、一步間違えたら多くのお客さまの命を奪い兼ねない事象であることに間違いありません。

東京新幹線車両センターでは、検査周期が2日から3日に延ばされ、体制変更による要員の削減が行われております。その他の新幹線のメンテナンスに係る職場でも、様々な効率化が進められており、その中での事象です。お客さまの“いのち”を守るためにも、しっかりと原因を究明し、早期に対策を講じるべきです！

あわや大惨事  
JR東日本経営瓦解の危機!  
!!